

宮澤市長退任がきっかけ

政治は、暮らしにある

安曇野市長 宮澤 宗弘



このたび、任期満了の10月22日
をもちまして、3期12年にわたる
安曇野市長の職を退任すること
いたしました。

新設対等合併により誕生した安
曇野市の2代目市長に就任し、今
日まで重責を担うことができまし
たのも、多くの皆さまの温かいご
支援とご協力があつたからこそで
あり、心より感謝と御礼を申し上
げます。

市長就任以来、庶民派一筋、常
に市民目線に立ち、信条である現
場主義に徹しながら、ふるさと安
曇野のために全力を尽くしてまい
りました。そして、市民の皆さま
の声に耳を傾けながら、豊かな自
然環境や美しい田園景観、歴史・

文化を守り育み、暮らしやすさと
産業発展のバランスが取れた「田
園産業都市」の実現を目指してま
いりました。

喫緊の課題であった新庁舎建
設、土地利用の統一化、三郷のト
マト栽培施設の経営問題などの解
決、市としての一体感の醸成、市
民一人一人が幸せを実感できる暮
らしの実現に向けた各種計画の取
り組みなど、私自身がこれまで培
ってきた政治経験を生かしなが
ら、市民の皆さまと共に、着実な
歩みを進めることができました。

昭和46年、豊科町議会議員とし
て31歳から政治に関わり、県議、
市長として50年間にわたって我が
ふるさと安曇野の発展のために貢

献できたことは、誠に光栄でした。
日本はこれから、人口減少や少
子高齢化の進展、特に生産年齢人
口の減少による働き手不足の深刻
化やコロナ禍における生活環境の変
化により、かつて経験したことな
い社会を迎え、多くの皆さまの知
恵と行動力が欠かせなくなりました。

政治は、一部の者だけが関わる
ものでなく、日常生活の中にある
身近なものと考えております。多
くの人と関わることで暮らしが成
り立ち、支え合い、助け合つて地
域の課題を解決することが政治の
出発点だと考えます。

「ふるさと安曇野をより良いもの
にしたい」という市民の皆さまの
お気持ちは、安曇野の財産です。

すべての人が住み続けたいと
思える地域を次世代に引き継ぐた
め、引き続き、市政へのお力添え
をお願いいたします。

私自身も、一市民として安曇野
市を見守り、皆さまと共に支えて
まいりたいと思います。新市長の
もと、新型コロナウイルス感染症
の影響からいち早く立ち直り、地
域がさらに発展を遂げますことを
心より願っております。

最後に、市民の皆さまお一人お
一人のご健勝とご多幸をお祈り申
し上げ、退任のごあいさつとさせ
ていただきます。

皆さまの温かいご支援、ご理解
に感謝申し上げます。本当にあり
がとうございました。

主な取り組みと出来事

● 喫緊の課題への対応

- ・土地利用制度の統一 (H24.12)
- ・新本庁舎建設と開庁 (H27.5)
- ・三郷トマト栽培施設の建物譲与 (H28.4)

● 市民の「一体感醸成」

- ・新年祝賀会(H22.1)、市民スポーツ祭(H22.6)の創設
- ・市歌の制定 (H27.10)
- ・ふるさと観光大使就任 (上松美香さん、榎中村屋)、ス
ポーツ大使就任 (有森裕子さん、篠原信一さん)

● 活力あるまちづくり

- ・新そばと食の感謝祭 (H25.11)、信州安曇野ハーフマ
ラソン (H27.6)、田んぼアート (R1.6) の開催
- ・連続テレビ小説「おひさま」ロケ支援 (H23.4～)
- ・安曇野インターへの名称変更 (H24.10)
- ・農家民宿の導入 (H27.5)
- ・安曇野しゃくなげの湯オープン (H28.10)
- ・拾ヶ堰の世界かんがい施設遺産登録 (H28.11)
- ・あづみ野産業団地の拡張 (R3.5)

● 健康長寿のまちづくり

- ・地域包括ケアシステムの構築 (H24.4～)
- ・市歯科口腔保健条例の施行 (H26.9)
- ・アクティブシニアがらぼう事業の創設 (H30.4)
- ・定時定路線バスのリニューアル (R3.7)

● 豊かな人を育むまちづくり

- ・子ども発達相談室 (H24.4)、母子・子育て相談窓口
(H29.4) の開設
- ・宿泊型産後ケア事業の開設 (H29.10)
- ・子育て応援手当の支給 (H27.4)
- ・信州型自然保育の推進 (H27.10～)
- ・保育所18園の「認定こども園」移行 (H29.4)

● たくましい安曇野の子ども

- ・校舎の耐震化工事の完了 (H24.3)
- ・教室のエアコン設置の完了 (R2.12)
- ・小中学校への電子黒板とパソコン導入 (R2.8)
- ・新総合体育館の建設 (R3.10)

● 環境を守り、安全・安心なまちづくり

- ・平和のつどい・戦没者追悼式典の創設 (H23.11)
- ・広島平和記念式典への中学生派遣 (H24.8)
- ・安曇野市平和都市宣言の制定 (H24.12)
- ・地下水保全・涵養の取り組みが評価を受け、国土交通
省「水資源功労者表彰」の受賞 (R1.8)

● 協働のまちづくり

- ・市自治基本条例の制定 (H29.4)

● 行財政基盤の強化

- ・ふるさと寄付でパソコン返礼品の受付 (H27.6)
- ・公共施設再配置計画の策定 (H28.6)
- ・人事評価制度 (H23.4)、複線型制度の運用 (R3.4)

● 県政・広域行政との調整

- ・地域高規格道路「松本糸魚川連絡道路」の最適ルート
帯 (Aルート) が決定 (R2.8)
- ・須砂渡トンネルの事業化 (R3.2)
- ・新ごみ処理施設の稼働 (R3.3)

市政トピックス

1月15日(土)オープン

ANC アリーナ

新 市発足以来の重要課題となっていた安
曇野市総合体育館(ANCアリーナ)の
しゅん工式を10月8日、現地で開催しました。

同施設の建設は、平成29年に基本設計が
始まり、市民ワークショップや説明会を通し
て市民の意見を取り入れながら、市として初
の技術提案による総合評価落札方式で施工業
者を決定、約1年半の建設工事を経て安曇野
らしい体育館が完成しました。総事業費は、
約38億5千万円です。

建物は、鉄骨造2階建て、延べ面積は7,846
平方メートル、メインアリーナ、サブアリーナのほか、
柔剣道場、トレーニング室兼多目的利用室など
を備えています。今後は、備品の調達など、
開館に向けた準備を進めます。

施設は、大規模スポーツ大会の開催はもと
より、健康づくりのトレーニングの場、イベ
ントでの交流の場として利用できます。また、
メインアリーナや柔剣道場は災害時の指定避
難所、サブアリーナは、緊急支援物資の集積
場所になるなど、新たな防災拠点としての役
割も担います。

オープンは、来年1月15日(土)。さまざ
まな開館イベントを予定しています。施設の
利用案内は、今後、広報紙やホームページで
お知らせします。



北アルプスの山並みと安曇野の風を表現した大屋根(上
写真)。しゅん工式に続いて、柔道家・篠原信一さんの安
曇野市スポーツ大使委嘱書交付式が行われた。(左下写真)